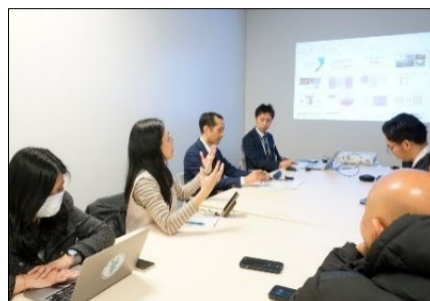




APFSDでの関連イベント後の集合写真（記事Ⅲ参照）

I. フィリピン・マカティ市による横浜市への防災関連施設の視察

2025年2月6日～10日にかけて、マカティ市の代表団が横浜市を訪問しました。本プログラムは、防災分野に係る知見の共有を目的としており、特に地域防災拠点の運用、災害時における自治体機能の維持、地震火災への対応に焦点を当てて実施されました。マカティ市からは、災害対策の企画等に従事する自治体職員5名が来日しました。両市とも非常に都市開発が進んでいるため、避難所として利用可能な空き地が限られているという共通した課題を抱えています。そのため、本プログラムでは、地域防災拠点の効果的な運用方法について意見交換を行う貴重な機会となりました。



マカティ市による視察—横浜消防本部庁舎・横浜市庁舎にて—

本プログラムでは、はじめに横浜市消防本部庁舎を視察し、庁舎内の施設を見学しました。視察では、衛生設備や太陽光発電システム、火災時でも運用可能な通信設備、指令室など様々な災害時対応機能について説明が行われました。これらの機能は大規模災害時においても消防活動の継続性を確保するために設計さ

れています。また、2月10日には、横浜市庁舎を訪問し、市の職員から①地震後に密集地域で発生した火災への対策と取り組み、及び②災害時の緊急避難所、食料・給水所、情報センターとなる地域防災拠点の運営についての2つのテーマに沿って講義を受けました。講義後には、市の防災担当部署の執務室や市庁舎の免震層など、防災分野に関連する施設を視察しました。その他の活動として、第29回震災対策技術展や横浜市民防災センターなども訪問しました。

II. SDGsに係る次世代育成の活動

2025年1月のCYOニュースレターでも紹介した2024年度の次世代育成活動の一環として、オンライン交流会を実施しました。本プログラムでは、次世代を担う若者が日常生活の中で感じる課題をSDGsの視点で自分事として捉え、取り組むことを目的としています。今回のオンライン交流会は、2025年2月19日に横浜市立みなとみらい本町小学校とモンゴルのウランバートル第23学校の間で実施されました。

2024年の12月に実施された前回の交流会では、子どもたちは日常的に取り組んでいるごみ問題に関する活動について発表を行いました。それから2か月後の今回の交流会では、両校の子どもたちはお互いの取り組みの成果を紹介しました。横浜市の子どもたちからは、屋外設置用の特製のごみ箱について、ウランバートルの生徒からは、ごみの分別の普及啓発用に作成したポスターについて紹介されました。また、交流会においては、お互いの発表のみならず、お互いの国の文化に関するクイズも実施されました。子どもたちは、発表の後に自分達の住む街の将来のビジョンについて意見を交換し、出てきた意見を日本語/モンゴル語でスライドに整理しました。今回の交流会を通じて、子どもたちはお互いの文化やSDGsへの取り組みについて、深い関心を示していました。今後の子どもたちの取り組みが上手くいくことを期待しています。



オンライン交流会の様子



将来のビジョンについての意見交換

III. VLRに関連する都市間連携

フィリピン・サンタローザ市へのVLR推進支援

横浜市は毎年、アジア・スマートシティ会議（ASCC）を開催し、アジア太平洋地域の都市の代表や関係者とともに、持続可能な都市開発に関して議論や知見共有を促進しています。この一環として実施されているシティネットSDGs分科会の直近のセミナーでは、自発的ローカルレビュー（VLR）を主要テーマの一つとして位置づけ、各都市が知見や課題、ベストプラクティスを共有するプラットフォームを提供しています。これらの議論を通じて、フィリピン・サンタローザ市をはじめとする都市がVLRの取り組みへの強い関心を

示し、それぞれのVLRに着手するに至りました。

都市間連携の取り組みの一環として、横浜市はサンタローザ市のVLRの実施支援としてピアレビューを行いました。サンタローザ市のVLRがその実績や今後の展望を適切に反映できるよう、横浜市とCYOは、サンタローザ市のVLR案に対してコメントや提案を提供しました。特筆すべきは、我々が知る限り、この連携はアジアの2都市間で行われた初のVLRのピアレビューであるということです。この取り組みは、共通の都市課題への取り組みや持続可能な開発の推進において、国際的パートナーシップの重要性を改めて示すものとなりました。

APFSDのサイドイベントにおける発表とネットワーキング

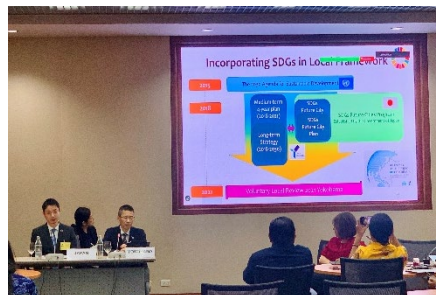
横浜市は2025年2月25日～26日にかけて、タイ・バンコクの国連会議センター（UNCC）で開催された「第12回持続可能な開発に関するアジア太平洋フォーラム（APFSD）」に参加しました。APFSDは、アジア太平洋諸国による持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取り組みを支援し、持続可能な開発のための2030アジェンダに関する地域の進捗状況を検証するための包括的な政府間フォーラムとして毎年開催されています。

APFSDに先立ち、2月24日には「地方・地域政府集会：SDGsのローカライゼーションに向けたマルチレベル・コラボレーションの推進」と題したイベントが開催されました。本イベントは、アジア太平洋自治体調整機関（APLG）、アジア太平洋都市自治体連合（UCLG ASPAC）、持続可能な都市のためのアジア太平洋地域化パートナーシップ（APLP-CITIES）、国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）、国連開発計画（UNDP）が主催したもので、アジア太平洋地域の地方・地域政府のリーダーや代表者がSDGsへの取り組みを議論するプラットフォームとして設けられました。特に2025年のハイレベル政治フォーラム（HLPF）のテーマに沿い、SDGsのゴール3、5、8、14 及び 17について議論が行われました。

VNR（自発的国家レビュー） - VLR（自発的ローカルレビュー）対話セッションでは、横浜市国際局の横内宣明課長が日本の外務省とともに登壇し、VLRの実施やSDGsのローカライゼーションにおける横浜市の取り組み、更にアジアの都市との連携について紹介しました。また、SDGsや脱炭素化への取り組みにおける横浜市と中央政府との協力関係についても説明しました。



地方・地域政府集会



横浜市による発表



サンタローザ市長との対談

さらにフィリピン・サンタローザ市のアーレーン・B・アルシラス市長が登壇し、横浜市がピアレビューを通じて支援した同市初のVLRを発表しました。

横浜市は、2月25日にAPFSDの期間中に開催されたサイドイベント「ローカルインパクトの最大化：東南

アジアにおけるSDGsのローカライゼーションと包括的アクション」を共催しました。本イベントは、東南アジアにおけるSDGsのローカライゼーションの取り組みに関心を集め、各国・各都市の実践事例を共有することを目的とし、UNDP、国連人間居住計画（UN-Habitat）、フィリピン・サンタローザ市、タイ王国内務省、地球環境戦略研究機関（IGES）等と共同で開催されました。本イベントでは、タイ王国政府が外VNRにおける国家的なビジョンとローカル・アクションへの取り組みについて発表しました。続いて、マレーシアSDGs議員連盟（APPGM-SDG）からは、SDGsのローカライゼーションにおける国会議員の役割について発表がありました。更に、IGESはVLRプロセスに関する経験と洞察を発表しました。

本イベントではフィリピン・サンタローザ市のアーレーン・B・アルシラス市長も登壇し、サンタローザ市のVLRプロセスと横浜市の協力から得られた知見を紹介しました。これに対して横浜市国際局横内課長は、サンタローザ市のVLRの取り組みに横浜市が携われたことを大変光栄であると述べるとともに、サンタローザ市が行ったVLRプロセスにおける多様なステークホルダーの参画の重要性にふれ、VLR活動を通じた新たなパートナーシップの協業可能性が広がっている点にも言及しました。本イベント終了後、両市は、VLRを踏まえた次の活動、2025年に開催される第14回ASCCでの連携など、さらなる協力の可能性について意見交換をしました。今後も、VLRを通じた国際的なパートナーシップの深化が期待されます。



サンタローザ市長によるVLRの成果発表



横浜市によるサンタローザ市VLRへのコメント



横浜市とサンタローザ市のVLRチームとの集合写真

IV. 来年度の活動予定

2025年度は以下の取り組みを実施予定または検討しています。詳細については関連ウェブサイト等で順次ご案内いたします。

SDGsに係る次世代育成の活動（通年）

横浜市及びCYOは、モンゴルやインドネシア等の海外都市の学校と連携し、子ども達によるSDGsに関する交流活動を支援します。オンライン交流に加え、ビデオや絵日記等の作品交流を促進するとともに、11月頃に開催予定の市民向けイベントにおいて、これまでの活動成果を報告する予定です。

海外都市のSDGs推進・VLR実施支援（通年）

シティネット会員都市におけるVLRの普及を促進するため、国際機関等と連携を強化しながら、横浜市のSDGs・VLRに関する取り組み・知見を共有するとともに、連携都市のVLR実施への支援・関与を進めていきます。

シティネットSDGs分科会セミナー（11月）

11月下旬に開催される第14回アジア・スマートシティ会議（ASCC）に併せて、シティネットSDGs分科会セミナーを実施します。今後、SDGs分科会議長・副議長・シティネット事務局等と連携しながらプログラムを企画し、8月頃に広報を行う予定です。皆さまぜひ横浜にお越しください！

第13回ダナン都市開発フォーラム

横浜市は2013年にダナン市と技術協力に関する覚書を締結して以来、技術協力の一環として毎年「ダナン都市開発フォーラム」を開催しています。2024年はダナン市で開催され、ダナン市との重点協力分野であるエコ工業団地、廃棄物管理、スマートシティ開発、SDGs/VLRをテーマとした議論が行われたほか、ビジネスマッチングや現地視察が行われました。2025年は横浜で開催を予定しています。

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 横浜国際協力センター6階

TEL: 045-221-1214

E-mail: citynetyokohama@gmail.com



CITYNET Yokohama Project Office
supports the SDGs.